

中部日本ニュース

シネスコ版

No. 535

39. 4. 17

高知新聞 = ニュース No. 370

新愛媛新聞 = ニュース No. 198

一、五輪代表決まる

——日本選手権マラソン

四月十二日、東京オリンピック・マラソン代表を決める大会が、絶好のコンディションのもと、東京国立競技場——調布飛田給往復のオリンピック・マラソン・コースに七十五選手が参加して行なわれました。腰痛で不調を伝えられていた君原健二選手が「根性」で独走し、コース新記録。二位、円谷幸吉選手、三位、寺沢徹選手がそれぞれはりました。このあと選考委員会が開かれ、初の五輪代表選手はマラソンの君原、円谷、寺沢の三選手に決まりました。

一、日本新が続出

——室内水泳選手権

第六回末弘記念日本室内選手権大会は十一日、十二日の両日、東京千駄ヶ谷室内プールで行なわれ、女子バタフライでは期待の高橋栄子選手が大会新記録。男子二百メートル平泳ぎでも松本健次郎選手が大会新。百メートル背泳の田中聡子選手も日本タイ記録を出したなど五種目に七つの日本新記録が生まれました。しかし前景気の割りには低調に終わった大会であり、国際的に見てもオリンピックまでまだまだということになります。

一、幼稚園の浩宮さま

四月十三日は学習院幼稚園の入園式この日、浩宮さまは新しい制服に胸をふくらませ、ママの美智子さまと一緒に登園。さくら組のお友達に担任の大熊先生に名前を呼ばれ一人づつ起立。宮さまも「徳仁親王殿下」と呼ばれると「ハイ」と元気よくご返事して気を付けられました。このあとテラスで記念撮影……。こうして「宮ちゃま」は十四日から毎朝ご通園されるのです。

アイモ風土記

一、関ヶ原

徳川、豊臣の軍勢が天下を賭けた大阪冬の陣の戦場「関ヶ原」。荒涼としたこの原野には戦国の強者どもを思ふ風情が残り、春とともに観光客もテラホラと訪れています。ここは、その昔仲仙道と北国街道の分岐する交通上の要路でした。そして時変って今、わが国経済の大動脈名神高速道路がこの地を貫き新たな発展が約束されたのである。このため、町当局は工場誘致に日夜作戦会議を開いて奮闘。一方町の人達は先んずれば人を制すとはかりウオーランドの建設に着工。地の理を得たりと高速道路で逃げる観光客を捕えんと懸命。こうして天下分け目の関ヶ原は今の世も激しく闘かわれているのです。

63202

286

80

98

168